

いわみざわ



発行所 陸上自衛隊駐屯地会
 岩見沢市日の出台2-7
 印刷所 北海道立福祉社
 空知郡岩見沢町越上350
 電話 (0126) 45-2721

駐屯地創立42周年 第12施設群創隊20周年

記念行事

災害派遣の訓練を展示

岩見沢駐屯地では九月二十四日、自衛隊協力会岩見沢地区連合会(会長 笠原喜平治氏)及び隊友会岩見沢支部(支部長 長崎進氏)の共催で、駐屯地創立四十二年、第十二施設群創隊二十周年の記念行事を挙行了した。

また、曹友会が担当したミニ列車の運転・エアートランポリン・ジープ試乗は、最新の装備品展示、七四式戦車の試乗と併せて家族連れの人気を集めて長い列ができていた。



写真・陶芸展

九月十四日・十五日の両日、駐屯地創立記念行事の一環として、西友岩見沢店において自衛隊及び駐屯地の活動を紹介する「第八回岩見沢自衛隊写真・陶芸展」を開催した。今年には「鍛える」「備える」「貢献する」「ふれあい」の各テーマ別の写真百六十六点、駐屯地「日の出焼」四代目窯元渡辺衛曹長他の陶芸部員が作った、花瓶や皿など七十点を展示して日常の活動を市民に紹介した。特に阪神大震災後の復興活動を行う隊員や、ルワンダ難民救援活動の様子を紹介した



「記念式典は、周りの木々の葉が少しずつ色づきはじめた宮庭で行われ、多田司令の挨拶、渡辺省一議員始め来賓のお祝いの言葉、祝電披露等があり、観閲行進に移り各中隊が車両行進を行い、堂々の行進を披露した。



司令式辞要旨

本日ここに、多数の御来賓の御臨席のもと、当岩見沢駐屯地の諸先輩並びに隊員諸官の御家族の御参加を頂き、岩見沢駐屯地創立四十二年及び第十二施設群創隊二十周年の記念行事を実施できますことは私始めこの駐屯地に所属する全隊員の喜びとする所であり、特に第十二施設群は、岩見沢駐屯地を真に愛し支えて頂いている皆様方の御支援御協力を得て、本年をもって二十周年の成人式を迎えることができました。

同時に陸上自衛隊も大きな方向変換をしつつあります。その特筆すべきは、平成三年から始まったPKO等国際貢献業務であります。カンボディア・モザンビーク・ルワンダ等、僅か三年の間に七個の部隊派遣を実施し、PKO業務は自衛隊にとって恒常業務となって参りました。また、今年の一月に発生した阪神・淡路大震災では陸上自衛隊として、初めて方面総監が指揮する救助・救援活動が行われました。こういったなかにおいて、第十二施設群も第二次カンボディア派遣施設大隊として九十六名の隊員を、カンボディアに派遣し道路整備・選挙支援等の活動を六ヶ月にわたり実施致しました。この間における隊員の真摯な活動はUNTAG明石代表を始め各国の軍人・外交官



から高い評価を受け、ひいては日本国民の優秀さを世界に知らしめる事となりました。続いて、ルワンダ難民救援隊として二名の隊員を参加させました。阪神・淡路大震災については、北部方面施設群として二回にわたって延べ百四十九名の隊員を派遣し、被災建築物の撤去作業等を黙々と実施し、これまた神戸・芦屋市民の絶賛を受けたところであります。時あたかも、フランス・中国の核実験の強行、ボスニアにおける民族紛争の継続、また、我が国近傍においては北朝鮮問題等、世界情勢は不透明かつ流動的であります。また、国内においても地下鉄サリン事件の発生等、国民の不安の増大、さらには景気の低下傾向等は否めず、これまた不確実・流動的な現況にありませぬ。こういった国内外情勢下において、我々自衛官は現下の情勢に左右されることなく、日夜訓練に精進して常に「有事即応」の態勢を保持し、真に国民の自託に答えることのできる実力を蓄えていることが必要であると考えております。

ちょうど二十一年目の今年度、群内に抗道掘削中隊が新編されます。また、新しい時代を迎え多様な任務に的確に対応できるように更に基本に立ち返り、第十二施設群を維持・発展させていく所存であります。引き続き、当群・当駐屯地に対する御支援・御指導をお願い申し上げます。

“終身保険の充実保障。”

- 三大疾病 (リビングニーズ)
- 余命6カ月生前死亡保険金支払
- 通院特約

東邦生命

担当 深沢 隆子 (内線327)

安心とゆとりのプラン

協栄生命 LL・ワイド 1500

更新型

余裕資金を上手に活かして大型保障

協栄の保険料還元制度をご利用下さい。
 定期特約付終身保険

協栄生命保険株式会社

二人の時間を刻みたい

Iwamizawa Heiankaku

Phone: 0126-23-4581 FreeDial: 0120-201143

隊友会岩見沢支部 第一〇二施設大隊三中隊 廃編二十周年記念行事



記念行事実行委員会(委員長 長崎進氏)では、秋晴れの好天に恵まれた十月二十一日と二十二日の二日間、第一〇二施設大隊廃編二十周年記念行事を行った。

この会は、岩見沢駐屯地に転入し最初に三中隊に所属になった隊員を会員とし、今回が四回目である。今年も、昭和五十一年三月に第一〇二施設大隊第三中隊が、第十二施設群第三三七施設中隊に改編されてから十度二十周年に当たる節目を記念して、全国津々浦々の会員に呼び掛け、今春二月から委員長以下十一名の地元有志により、記念誌「追憶」や記念賞品「名人れタオル」等、その準備を進めてきた。二十一日(土)は午後六時から岩見沢市内のホテルサンブラザで、来賓として母体である第三三七施設中隊長の大足託也一尉を招待し、遠くは九州、四国、本州等から十四名の方々、そして道内の方々等八十二名が出席して盛大に中隊会を行った。

開会に先立ち、全員で記念撮影を行った後、長崎実行委員長から歓迎の挨拶があり「青春時代に過ごした思い出の深い、ここ岩見沢へようこそお出で頂き有難うございます。長年の夢が実現して喜びにたえません」と、熱き心を抑えながら挨拶され、続いて第十代中隊長の森下馨氏(埼玉県入間市)、第十一代中隊長の岡田徹也氏(音更町)の「お祝いの言葉」を頂き、更に来賓の大足中隊長から「先輩の築いた精強第三中隊を引継ぎ、更に訓練に励み先輩方のご期待に応えるよう頑張ってください」と力強く挨拶された。諸般の都合で出席できなかった多くの方々からも祝電やメッセージが届き、中隊会会員

の深い心の絆が再確認された。宴会では四十年、三十年振りの再開とあって、抱き合ったり喜ぶ方、固く握手してお互いに元気で再会でき、皆二十代、三十代へタイムスリップしての喜び一杯の懇親となった。懐かしい再会ではあるが、それぞれがそれなりの熟年となり、この喜び、この感激を何時までも心の中に刻んでおきたい心境から、それぞれ同期毎に記念写真を撮って光景はまさしく夢の再会と言っても過言ではないと感じた。

特に昭和三十年から三十八年の間、人生の最も熱い青春時代に過ごしたこの岩見沢へ、遠く四国の愛媛県からご夫妻で出席された井上司行氏の感慨深い喜びの表情が、筆者の私にも感動を与え胸が熱くなった。

最後に、当実行委員会の幹事長田中久氏から幹事を代表して心からの感謝と御礼の挨拶があり万雷の拍手の中お開きとなった。

二次会は、駐屯地隊員クラブで約半数以上の四十六名が集まり、夢をもう一度といった感じで再び思い出話で盛り上がり夜半まで続いた。

翌二十二日(日)は、午前九時から約三十名の方々が参加し駐屯地内を見学した。見違えるほど綺麗になった駐屯地の景況等を、一つ一つ確認しながら四十年前を思い起こし、その変容振りに驚きながらも心の安堵感が深い感慨深い思いのようであった。最後に駐屯地隊員食堂において会食をし、本記念行事の全てが終わりそれぞれ心に「熱い満足のお土産」を刻み、「お互いに別れを惜しむつつ固い握手を交わしながら健康を懸し、再会を約束しそれぞれの郷里へ帰って行った。

(細川金治 記)

「岩見沢市政について」報告(つづき)



顧問 安藤 富男

再開発ビル建設事業に伴う基金合意」いわゆる駅ビル会社との三者協定が結ばれ、これに基づき平成二年一月より地質及び地下水(温泉も含め)の調査のためのボーリングが始まるのだが、すでにバブル経済の崩壊が目前に迫っていることなど誰も知る由もなかった。

故国兼前市長も、三者への支援策を履行すべくビル会社の増資に合わせて、同社の持ち株を二十%より五十一%、金額にして千七百五十万から七千六百五十万に増加し協力の態勢を敷く。すでにバブル経済崩壊の影響は始まっていたものの、なんとか地上二階地下二階建てのビル、しかも将来は三階以上の増築に備えて基礎は八階建てに耐えうるものとした。総工費二十億四千九百八十万の契約が平成三年三月二十三日に締結された。市側も協力の一端として完成のあかつきとしては地下一階部分を公共施設として買い取るべく六億三千二百万の予算を四年度分に計上する。三月三十一日には、地鎮祭も済ませ九月三十日の竣工に向けて工事は始まるのだが、なぜか四月二十三日には三階以上の分(総工費五十九億六千万)の契約が結ばれ工事開始と同時に、現場に十億千六百三十万の資材が搬入される(この資材が最後まで野ざらしのまま残り、後に大きな障害となる)。

今回はここまでとさせていただきます。次回に最後のまとめといたします。

(岩見沢市議会議員)

オール電化マンション
**レジエンド
(有) エイ**
連絡先: 岩見沢市6条西7丁目
☎ 22-0087

総合商社
株式会社 君島商会

- ☐ 本社 岩見沢市南町9条2丁目 ☎022-4613
- ☐ 本支社 岩見沢市志文本町2条3丁目 ☎22-5813
- ☐ 支店 札幌市南町10 ☎45-2088
- ☐ 支店 岩見沢市南町9条2丁目 ☎22-4555
- ☐ 自動車部 岩見沢市南町9条2丁目 ☎22-8434
- ☐ 4-194 岩見沢市 岩見沢市南町9条2丁目 ☎22-7801
- ☐ 3-101 岩見沢市 岩見沢市南町9条2丁目 ☎24-8390
- ☐ 3-101 岩見沢市 岩見沢市南町9条2丁目 ☎25-4840

ビル管理部、北海道知事登録・元・清・第6号
はしもと商事有限会社
メンテナンスに関する事ならお任せ下さい。
親切・丁寧・確実

TEL・FAX(0126) 22-5546
岩見沢市駒園5丁目6

みんなの広場

☆私の出会い



本部管理中隊
士長 青山 幹雄

入隊してからもう二年半が過ぎました。人それぞれの感じ方があるかと思われすが、今までに自分自身に取ってよい経験だったと思うことを話したいと思います。

入隊するときは六ヶ月間の教育期間がありますが、その間「ここまでする必要はあるのかな？」と思うこともありましたが、中隊に配属になりました。それがこの組織で必要だと分かりました。あの大変な教育の六ヶ月間があったおかげで人見知りすることなく馴染めたいと思います。

配属になっていろいろな出会いがありました。前中隊長には個人的な問題についていろいろ助けていただきましたし、また現在の中隊長にも、司令伝令という重要な任務を務めさせていただき、貴重な経験ができ感謝しています。私自身も中隊長に助けられたことを私の立場に従ってすることが出来る機会があれば同じようにしたいと思っています。

もう一つの出会いは主任を始めた車両班の人達です。先輩達の助けを借りて自身の改善することが分かったので、今後も一人の隊員として、個人として人のためになる人間になりたいと思っています。これから陸曹を目指し、与えられた任務を創意工夫して務めていきたいと思っています。

☆教育を終えて



第327会計隊
2士 平間 由紀

新隊員前期・後期合わせて約五ヶ月間の教育を終え、第三二七会計隊で勤務するようになってから、一ヶ月が過ぎようとしています。教育中は早く教育が終わることを願っていました。終わってしまふと少し寂しい気がします。

私が今までの教育で習ってきたことは、自衛隊で生活していくための基本的な事ばかりでした。この二ヶ月間勤務してきて、それだけでは会計ウーマンとしてやっていけないことが分かりました。私が一人前の会計ウーマンになるには勉強することを惜しまず、沢山の人からいろいろなことを教わり、それを確実に自分の物に出来るよう努力をしていかななくてはならないと感じました。

教育が終わった今、自衛官になり会計という職種に就けたことを誇りに思っています。

私はこの歳で、自分に合っていると思われる職業を見つけ、自分の希望どおり地元で働くことが出来ることだと思っています。この様な環境を作ってくれた人達に、恥じぬようこれからの自衛隊生活を精一杯努力し、悔いの残らぬよう頑張っていきたいと思っています。

フォトニュースコーナー



335EC〇訓練検閲



RC工事



337EC〇訓練検閲

☆訓練



子供キャンプ



盆踊り大会



きのこ狩り

☆駐屯地行事



あやめ祭りパレード




北村田舎フェスティバル




いわみざわ百餅祭り

☆お祭り支援


千葉電気工事株式会社
 代表取締役 千葉 嘉男
 岩見沢市東山町22番地71
 電話(0126)24-4567番

近江建設株式会社
 特定土木建築許可 一級建築士事務所
 代表取締役会長 近江 章
 代表取締役社長 近江 雅章
 本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話 23-3026
 FAX 25-6582
 支店 札幌市中央区北1条西20丁目 電話 643-2889
 岸本ビル4F FAX 643-2616
 支店 三笠市唐松町1丁目374 電話 2-3179

安心しっかり
 愛車もしっかり
 車検費用積立プラン

富士火災
 担当 松浦直樹
 岩見沢支社 TEL23-5142

永年の勤務
ご苦労様
でした



長女 智美ちゃん
7月27日

本部管理中隊
二曹 村上 博之



長女 沙弥香ちゃん
7月19日

業務隊
事務官 伊藤 慎也



9月10日付

業務隊
三佐 大塚 悟
就職先
空知環境総合機



8月3日付

群本部
三佐 小笠原貞夫
就職先
拓銀岩見沢支店



二女 仁美ちゃん
8月18日

業務隊
二曹 鎌田 久義



二男 康真くん
8月16日

本部管理中隊
一曹 小見 一仁



10月28日付

会計隊
曹長 大橋 一男
就職先
佛岩見沢地域交流センター



10月19日付

本部管理中隊
准尉 佐藤 隆
就職先
よこのくに幼稚園



10月13日付

業務隊
准尉 甲斐 八雄
就職先
北海道オリジン 株



二女 奈々ちゃん
9月5日

本部管理中隊
三曹 大谷 祥一



二男 蓮混くん
8月27日

本部管理中隊
三曹 高橋 進一



二女 みすずちゃん
9月18日

本部管理中隊
三曹 斎藤 謙



二女 由衣ちゃん
9月7日

第335施設中隊
三曹 山上 竜一

結婚
おめでとう

第三三六施設中隊
三曹 片山 修司
佳世さん
9月23日

人事往来

<p>◎転出</p> <p>【第十二施設群】 本部管理中隊 一曹 中川 由 岩見沢業 三曹 松井 務 3 施団 三曹 三澤 剛 1 曹教 第三三七施設中隊 一曹 鎌田 久義 岩見沢業 第三四二施設中隊 三曹 本間 博 名寄業 第三二二施設器材中隊 一尉 倉橋 幸男 岩見沢業 一曹 浅野 茂 岩見沢業</p> <p>【業務隊】 一曹 植田 豊 12 施群 一曹 古賀 博 12 施群 一曹 内海 清隆 12 施群 一曹 生井沢 威 中央病 行(一) 姉崎 松司 帯地連</p> <p>第三三三施設中隊 三曹 山上 竜一</p>	<p>◎転入</p> <p>【第十二施設群】 群本部 三尉 田中 均 105 曹隊 本部管理中隊 一曹 植田 豊 岩見沢業 一曹 古賀 博 岩見沢業 一曹 高尾 達則 4 施大 一曹 阿南 幸吉 8 施大 一曹 森 勝則 4 施大 第三三五施設中隊 一曹 榎木 辰美 2 施群 一曹 原田 靖史 9 施大 一曹 木密 司 8 施大 一曹 後藤 郁雄 9 施群 第三三六施設中隊 一曹 蔵本 和彦 4 施大 一曹 宮本 隆二 2 施群 第三四二施設中隊 一曹 吉田 三男 名寄業 第二一二施設器材中隊 一曹 内海 清隆 岩見沢業 一曹 河津 信次 8 施大 一曹 藤瀬 和則 2 施群</p> <p>【業務隊】 一尉 竹村 三男 1 戦群 一尉 倉橋 幸男 12 施群 一曹 大槻 崇孝 札幌業 一曹 中川 由 12 施群 一曹 浅野 茂 12 施群 一曹 鎌田 久義 12 施群 行(一) 豊岡 道代 真駒内業 【会計隊】 一曹 野沢 忠司 札幌 【警務隊】 一曹 宮町 由春 真駒内</p> <p>☆新規採用☆ 行(二) 佐藤 貴志</p>
---	---

宝石 創業87年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店
(株)太田時計眼鏡店
岩見沢市1条西4丁目
TEL 0126-22-3353 22-3354

自衛隊退職者雇用協議会
岩見沢支部
事務局: 岩見沢商工会議所内
支部長: 勝井 祐 輔
TEL: 0126-22-3445

500人収容の大宴会場から中小宴会場
でお待ち申し上げております
ホテル サンブラザ
岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788

人としての
時代としての
モニュメントを大切に

株式会社 渡辺石材工業
■本店 〒068 岩見沢市8条東11丁目
TEL(0126)25-2545・FAX(0126)23-4567

株式会社 本堂建設工業
本社 〒068-21 TEL 010267-2-7300
三笠市岡山359番地1 FAX 01267-2-0858
札幌支店 〒000-3 TEL 011-861-1381
札幌市白石区本通り南1の8 FAX 011-865-5034
石狩支店 〒061-32 TEL 0133-73-9111
石狩市花川南1条1丁目 FAX 0133-73-0757

おしゃれの店
洋品の **マルカワ**
高橋 邦 夫
岩見沢市3条東1丁目 ☎ 221224